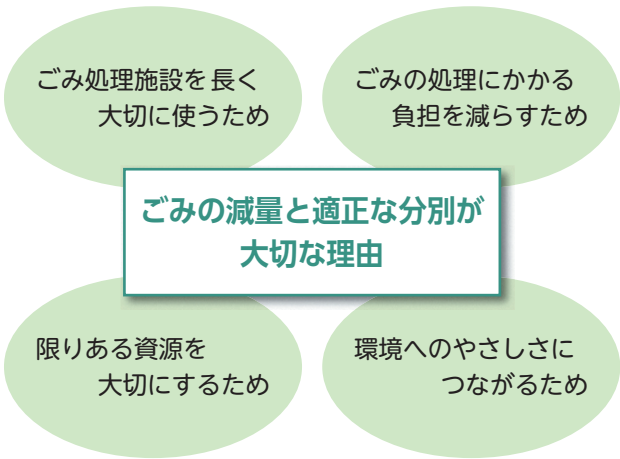




# 未来のために今できること

## — ゴみを減らす・正しく出す —



私たちの暮らしから毎日出る「ゴミ」。その収集や処理には、多くの費用や手間がかかっており、ゴミ処理は、日々の生活を支える大切なしくみの一つです。本町の令和6年度のゴミ総排出量は、事業所ごみを含め4,037トンとなっています。

人口減少が進む中、この状況が続くと、将来の負担はさらに大きくなっていきます。

ゴミを減らし、適正に分別して出すことは、処理にかかる負担を軽減するだけでなく、施設を長く使い続けることにもつながります。

今月の特集では、ゴミの減量に向けた取組や適正な分別方法などについてご紹介いたします。

### ■ 数字でみるごみの現状

#### 【ごみの処理にかかる年間経費は？】

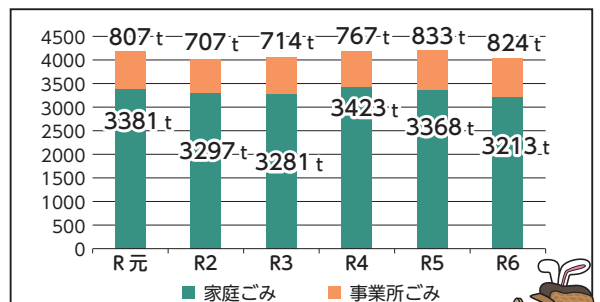
令和6年度の実績をみると、経費は町民一人あたりに換算して、約13,900円かかっていることになるよ！



令和5年度	令和6年度
212,256 千円	215,435 千円

※年間経費：収集運搬費、施設運営管理費など  
 ※人口は令和6年10月1日の住民基本台帳とする

#### 【八頭町の年間ごみ排出量】



こんなにたくさん  
ごみが排出されているんだね



# できることからはじめよう ごみ減量の取組



家庭から出るごみの中でも、大きな割合を占めているのが「可燃ごみ」です。ちょっとした工夫や取組で、無理なく減らすことができますので、身近にできる方法から始めてみませんか。

## 取組① 生ごみの水切りでごみを減らそう

生ごみの約80%は水分といわれており、水切りをするだけで、5～10%の減量効果が期待できます。また、生ごみは焼却処分していますが、その際に水分が多いと燃えにくく、多くの燃料が必要となります。その結果、二酸化炭素の排出量が増えるなど、環境への負担も大きくなります。生ごみを可燃ごみで出す際は、「水を切る」のひと手間でごみの減量と環境へのやさしさにつながります。

### — 水切りの3つのポイント —

#### ① ごみをなるべくぬらさない

- 野菜の皮は洗う前にむく



#### ② しっかり絞る

水切りネットに入れて、捨てる前にギュッとひと絞り…



#### ③ 乾かす

三角コーナーなどで一晩おいて乾燥させる



## 取組② 生ごみ処理機などの活用でさらに減量

可燃ごみの約35%が生ごみです。「電動式生ごみ処理機」や「コンポスト容器」を活用することで、生ごみの減量につながります。堆肥として再利用することもでき、環境にもやさしい取組の1つです。本町では、こうした取組を推進するため、購入費の一部を補助しています。

## 生ごみ処理機器等の購入を補助しています

**対象** 町内に住所を有し、居住している方

- 補助内容**
- 電動式生ごみ処理機  
購入費の2分の1（1,000円未満切捨て〔上限30,000円〕）  
※1世帯1基まで／送料・中古品は対象外
  - コンポスト容器  
購入費の2分の1（1,000円未満切捨て〔上限3,000円〕）  
※1世帯2基まで／送料・中古品は対象外

**申請方法** 町民課へ申請書に領収書等を添付して提出してください。申請書は町ホームページからダウンロードできます。※詳しい条件や手続きについてはお問い合わせください。

**ページID** 0001041

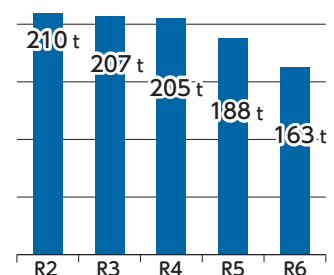


## 生ごみを資源に!! 分別回収の取組

本町では、現在55集落で可燃ごみとは別に、生ごみだけを分別して回収する取組を行っています。回収された生ごみは、民間業者の処理施設で液肥としてリサイクルされ、資源として活用されています。

このような取組により、生ごみの減量と資源の有効活用につながっています。取組を希望される集落は、事前に町民課（☎76-0205）までお問い合わせください。

【八頭町の年間生ごみ回収量】



# 迷わない！適正なごみの分別・出し方



ごみの分別は、毎日の暮らしの中で誰もが関わる大切なことです。同じごみでも、分け方ひとつで「資源」として活かされるものと、「ごみ」として処理されるものに分かります。

「これはどこに出せばいいの？」と迷うことも少なくありません。

正しい分別方法を知ることによって、資源を有効に活かし、安全にごみを処理することにつながります。このページでは、よくある疑問や確認方法を通して、分別のポイントをご紹介します。

## これどう出す？分別 Q&A

ごみの分別は、一人ひとりの心がけで変わります。今一度、ごみの正しい出し方について確認してみましょう。



Q

スプレー缶は、穴を開けてもいいですか？

A

穴を開けても構いませんが、必ず中身を使い切り、「有害ごみ」の日に出してください。



Q

電子機器の電池が取り外せない場合はどうしたらいいですか？

A

無理に分解せず、そのまま本体ごと「有害ごみ」の日に出してください。  
※発火の恐れがあるため、無理な分解は絶対にしないでください。

Q

大型資源ごみの日に出したのに回収されませんでした。なぜですか？

A

大型資源ごみは、50cm以上1.8m未満の不燃物が対象です。木製部分などの可燃物は必ず取り外してください。

## 正しい分別はここで



### 家庭ごみの分別と出し方手引き

ごみの分け方や出し方を詳しく掲載しています。

分別に迷ったときは、まずはこちらをご確認ください。



令和6年4月版

### 八頭町ごみ分別アプリ

ごみの収集日や分別区分を手軽に確認できます。検索機能で品目ごとの出し方もすぐに調べられます。

iPhone/iPad 用



Android 用



## その他、ごみの分別に関するお知らせ

### 在宅医療廃棄物の出し方について

令和8年4月から、在宅医療廃棄物のうち、バッグ類やチューブ類など鋭利でないものは「可燃ごみ」としてごみステーションで回収します。

出す際は、必ず町指定ごみ袋に入れてください。  
※注射針などの鋭利なものは、引き続き医療機関等へ引き取りを依頼してください。

### ごみ学習会（出前講座）について

町職員が集落などに伺い、ごみに関する学習会を行っています。

開催を希望される場合は、**町民課（☎ 76-0205）**までお問い合わせください。

ページ ID 0007925



# 可燃ごみはこう処理される — 可燃物処理施設「リンピアいなば」 —

家庭から出された可燃ごみは、ごみ収集車によって回収され、「リンピアいなば」へ運ばれています。回収された可燃ごみは、この施設で安全に処理され、エネルギーとしても活用されています。

「リンピアいなば」は、可燃ごみを処理する広域処理施設として、令和5年に完成しました。高性能の焼却炉により、ごみを安全かつ安定的に処理しています。また、排ガス処理設備に最新技術を導入し、万全な環境保全対策を講じています。



## リンピアいなばってこんな施設

### エネルギーを生み出す

ごみを燃やす際に発生する熱を利用して発電を行っています。

### 環境に配慮した施設

排ガス処理設備により、有害物質の発生を抑えています。

### 災害時にも活用できる

震度7の地震にも耐えられる構造で、避難所としての活用も想定されています。

### 学びの場としても利用

体験型の学習設備やバリアフリー設計を取り入れ、環境について学べる施設です。



# 不燃ごみはこう活かされる — 鳥取県東部環境クリーンセンター —

家庭から分別して出された不燃ごみ（小型破碎ごみ、大型資源ごみなど）は、「鳥取県東部環境クリーンセンター」に運ばれ、再資源化や埋立て処理が行われています。



「鳥取県東部環境クリーンセンター」は、平成9年に供用開始された施設で、不燃ごみの処分と埋立ての最終処分を行っています。また、リサイクル啓発施設「リファーレンいなば」を併設しています。

同センターに回収された不燃ごみ（小型破碎ごみ、大型資源ごみなど）は、人の手や機械によって選別され、危険物を取り除いたのち、破碎機・アルミ選別機・磁選機などで処理され、鉄やアルミ、びんなどに再資源化されています。

## 鳥取県東部環境クリーンセンターとリファーレンいなばってこんな施設

### 資源としてよみがえる

ごみは、破碎機や選別機などを使って処理され、再資源化されます。

### 安全に処理されるしくみ

処理の前に、人の手や機械によって危険なものを取り除き、安全に作業できるようにしています。

### 最終処分場の役割

再資源化できないごみや可燃ごみの焼却後の灰は、最終処分場で埋め立てられます。地下への影響を防ぐため、遮水シートや監視システムを備えています。

### 学び・体験の場として

リファーレンいなばでは、施設見学やリサイクル体験を通して、ごみ問題について学ぶことができます。



## ごみの搬入と分別にご協力ください

### 〈リンピアいなば〉

可燃ごみの直接搬入を受け付けています。  
処理手数料：10kgあたり120円



▲詳しくはコチラ

### 〈鳥取県東部環境クリーンセンター〉

不燃ごみの直接搬入を受け付けています。  
処理手数料：10kgあたり390円



▲詳しくはコチラ

### モバイルバッテリーや水銀使用製品は、必ず分別を！

鳥取県東部環境クリーンセンターでは、モバイルバッテリーや電池類が誤って小型破碎ごみに混入したことによる発火トラブルが、年間約50件発生しています。こうしたトラブルにより、ごみ処理が停止したり、最悪の場合は火災に発展するおそれもあります。また、体温計などに含まれる水銀が可燃ごみに混入すると、排ガス中の水銀濃度が基準を超え、施設の稼働が停止となることがあります。

正しく分別し、モバイルバッテリーは「有害ごみ」の日、電池類や水銀使用製品は「乾電池類」の日に出してください。